

名古屋演劇鑑賞会のみなさん、こんにちは。
今年も残すところ数日となりました。稽古も28日～1月1日はお休み。みんな各自の稽古や、旅の準備をするようです。みなさんは年末年始いかがお過ごしでしょうか？
さて、それでは今日も早速、稽古場をご案内しましょう！！



この日は劇団の稽古場を飛び出し、劇場サイズの広さがある稽古場での稽古をしました。



2幕のダンスナンバー「ばら色の時」



新しい振付「オーディション」

ダンスも広々。新しい振付もあり、有意義に稽古場を使いました。
実は、劇団の稽古場は、実際の舞台の約半分の広さしかなく、見学に来られた方はたいていびっくりされます。役者の汗が演出席まで飛んでくることや、スカートが起こす風で台本が飛ばされることもしばしば…。



←霧吹きを使う
吉田要士さん

そして稽古場に欠かせないのが「プラズマクラスター」という、シャープの特許技術の空気清浄機と加湿器！！
特にこの季節、乾燥が苦手なケン役吉田さんは霧吹きも使って稽古場を潤しています。でもこの清浄機の力はすごいんですよ！劇団では清浄機を使用する前まで一人が風邪をひくと、みんながうつってしまい、大流行していたのですが、購入後は劇団内で風邪が繁殖していくことがなくなったんです。



←劇団の空気清浄機、加湿器。ツアーにも持っています。



場所は稽古場に移り、衣裳合わせをしました。
左の写真は衣裳、靴、鞆です。もはやごちゃごちゃしていて何がなんかわからない状態です…。
去年のデータだと衣裳474着。めがね23点。靴45点。ものすごい数ですね。演出が少しでも変われば、衣裳や小道具が変わってくるので、今年の分はこれから集計するそうです。



今回も最後まで読んでくださり、ありがとうございます。今回の第四号は今年最終号です。
年が明けるとすぐ舞台稽古があり、いよいよ例会スタートとなります。益々張り切ってまいりますので、来年もよろしくお願い申し上げます。

「号外 稽古場の声」
別紙で役者からのメッセージをお届けします。
今日は晃役：吉田潔さん
大海原朱里江役：相原奈保子さんです。
個性が良く出ていますよね(^o^)